

# 令和3年度 学校評価報告書

学校番号( 中13 ) 長崎市立( 戸町中 )学校

## 1 教育目標

自ら考え判断し、友と協力しながら、夢の実現に向かう生徒の育成

## 2 学校経営方針

- 「個が生きる」この一心で学校経営を行います。
- 願いを一つに揃えるため、教育活動の指針は校訓、達成すべきは教育目標とします。
- 夢や理想を語り、その追求を続ける一人一人であることを目指します。
- RVPDCAのマネジメントサイクルによる学校経営を行います。

## 3 重点目標

- 自主・・・素直なあいさつができる生徒 時と場合に応じた言動ができる生徒 健やかな体と活力がある生徒  
見通しを持って計画的に動く生徒 積極的に自分の役割を果たす生徒 自信を持って課題を解決する生徒
- 友愛・・・自他の生命を大切にする生徒 誰にでも心優しく接する生徒 言葉を選び表現できる生徒  
他の考えや意見を大切にする生徒 伝え合い高め合う生徒 協働し行事に燃える生徒
- 飛躍・・・夢や希望を持ち努力し続ける生徒 適切に自己評価し挑戦する生徒 失敗を恐れず挑戦する生徒  
次のステップを創造する生徒 向上心をもち粘り強い生徒 地域や母校を愛する生徒

## 4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	86	69	94	校訓追求を中心とした教育活動については、生徒・保護者・教職員すべてにおいて、おおむね理解されている。 保護者の評価が低い点は、計画性及び次のステップを考えるという点であった。 業務の効率化においては、今後の大きな課題である。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	89	87	89	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			100	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			65	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	81	79	73	あいさつ・言葉遣い・生命尊重・思いやりといった点を重点課題とし取り組んだ結果、校訓追求でも高評価であった。 コロナ禍で多くの制限がある状況の中で、さまざまな活動を通し、協働的な活動を行った。 生命尊重に関する道徳・平和学習・人権学習など取り組んだ。 いじめ・友人関係によるトラブル・SNSによるトラブルなどには、未然防止策を浸透させる必要がある。
		挨拶をよくしている	90	76	81	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)				
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	63	74	98	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	56	72	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	86	77	81	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	87	73	81	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	80	66	90	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	78	76	85	校内研究のテーマとして「根拠を明確に」を掲げ、授業改善に努めた。「学習の手引き」を作成し、GIGA構想による授業改善、キャリアパスポートを活用した。 学習の意義や意欲を高めるなどの成果は、少しずつ生徒に出てきている。この結果がテスト結果などで保護者に届いていない点が評価に影響している。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	84	62	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	59	55	52	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	79	61	94	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		82				

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	85	84	87	昨年度からの継続したコロナ・熱中症対策・集中豪雨に関する対応と安全・安心に配慮すべき事項がおおむね理解されている。 給食活動を中心とした食育に関しては、専門員会活動や学級活動などを中心に改善していきたい。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている	85	80	64	
		体力向上に努めている	81	73	84	
	食育	食に関する教育活動を行っている	68	67	71	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	82	84	89	教師の思いや取組が、生徒・保護者に理解されてきた。情報の発信に関しても含め、より信頼されるような取組となるように改善していきたい。 地域行事への参加に関しては、コロナ禍への影響を含め今後も改善していき、より良い関係を構築していきたい。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	72	83	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	76	78	94	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			95	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	58	62	66	生徒会などを中心とした活動などを通して「自分たちできる環境整備」に取り組ませていきたい。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			90	

## 5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

・新型コロナウイルス感染症拡大予防の影響があり、実施形態や教育課程の大幅な変更が強いられた。しかしながら、落ち着いて教育活動に取り組み、校訓追求を通して学校教育目標の具現化を教師・生徒共に十分に理解し、取り組むことができた。

・校訓を『自主・友愛・飛躍』を掲げ、各項目ごとに18項目の重点項目に基づいて取り組んだ。今年度は、生徒・保護者にも校訓追求評価を実施し、学校評価・校訓追求評価の結果を分析し、RVPDCAのマネジメントサイクルを実践できた。

・生徒・保護者・教師が共通して肯定的な評価の重点目標として、【自主】あいさつ・役割 【友愛】生命・優しさ・意見を大切にする・行事に燃えるなどが挙げられました。課題としての重点目標としては、【自主】見通し・自信 が挙げられました。(4段階評価ですべて評価3以上)

・【飛躍】努力・自己評価・挑戦・向上心・粘り強さ(6項目中の5項目)という点で、生徒の高い評価に対して保護者・教師の低い評価という結果になった。(生徒評価は評価3以上、保護者・教師評価は評価3未満) さまざまな活動において、「見通しをもって、自分で判断する。」という機会を増やし、成功体験を通して自己肯定感につなげていきたい。同時に、自己評価能力の育成が課題であり、目標となる理想の姿を明確にした指導を展開していきたい。

・コロナ禍でのさまざまな制限が必要な行事、老朽化した校舎など現状を教師・生徒・保護者が共通して理解したうえで、家庭学習を含めた学力向上、いじめ対策、人権・平和教育を含めた心の教育、個に応じた指導などの具体的な活動の学校としての方針を明確にし、確実に実践する必要がある。

## 6 学校関係者評価

・コロナ禍でありながら、先生方の「できることを確実に実践する」という姿勢が評価に十分に表れていると思う。

・GIGAスクール構想の中での授業改善や家庭学習の充実、オンライン授業などを含め「わかりやすい授業」の取組は、生徒の評価に表れていると感じます。

家庭学習の充実につながることを期待します。

・普段の地域の中でもあいさつなどしっかりし、地域が好きであるという結果に、とっても嬉しく頼もしくも思う。

・学校評価での学力向上・キャリア教育の生徒・教師評価と保護者評価の差、校訓追求評価の飛躍に関する生徒評価と教師・保護者評価の差については、対策が必要だと思う。生徒への自己評価能力の育成とともに、保護者にはさまざまな活動の成果を紹介するなどの発信が必要だ。また、正確な結果が生徒に十分に理解されていない点が、評価の差の原因ではないか。

・環境整備に関しても、学校で改善したところ、生徒の活動で改善して欲しいところを明確にし、学校全体で改善する姿勢を明確にすることが大切であると思う。また、その中で成功体験をさせ、生徒を賞賛すると共に、保護者へも公開することで、評価が改善されることを期待している。

## 7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

・校訓追求  
校訓「自主・友愛・飛躍」を中心とした教育活動に関しては、生徒や教職員ばかりでなく、保護者・地域にも一定の理解が得られている。しかしながら、今年度のようにコロナ禍で、直接説明したり、活動を公開したり、直接評価を受けたりなどすることが極端に少なくなる可能性がある中で、一層啓発活動に努め、今後も継続した取組が大切であると考えている。

・確かな学力  
客観的な現状把握を年度当初に行い、今までの取組の成果・課題を明確にしていきたい。AIドリルによる教材を活かすなどGIGAスクール構想の有効な活用方法の研究を進め、授業改善を学校全体の取組として努力していきたい。また、キャリアパスポートの活用など将来の夢やあこがれの実現に向けての取組の中で、学ぶ意義や意欲を高めていきたい。

・環境整備  
コロナ禍や老朽化した校舎において安全面や衛生面に関する取組に関しては、生徒・教師が「自分事」として捉え、学校全体で改善しようとする体制が大切であり、保護者への成果を公開することで、改善していきたい。特に、生徒会活動や学級での係活動をとおして、自主的な活動の中での学校教育目標の具現化につなげていきたい。